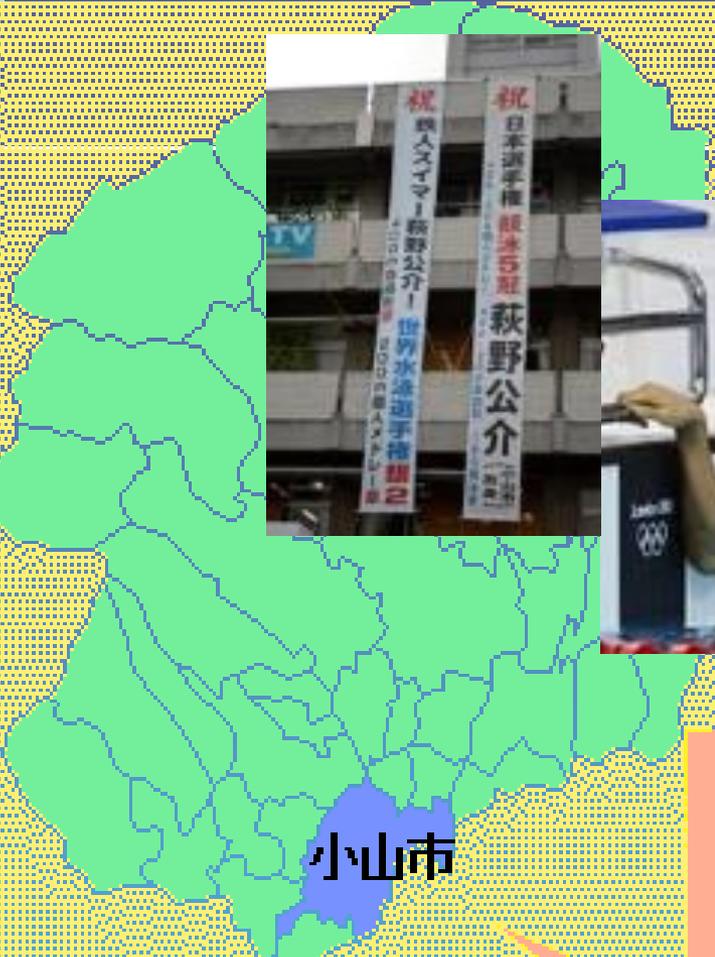


# 学校保健と 地域保健の連携

—小山市における取り組み—

【事例提供者】  
小山市役所健康増進課 福原 円





人口 165,696人  
高齢化率 21.5%  
【H26.10.1現在】

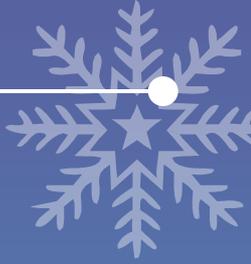


保健師26名（産休育休4名）  
地区担当制と業務分担制



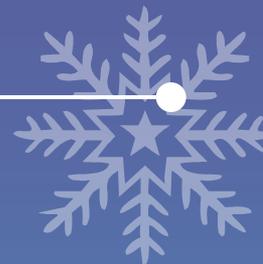


# 小山ブランド「ハンドベル」



平成26年12月13日 (土) 14:00~  
小山市立文化センター (無料)



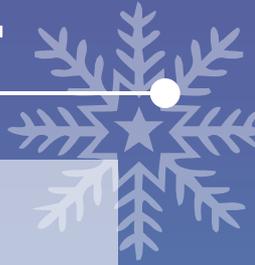


# 起承





# 小山市健康推進員会の概要

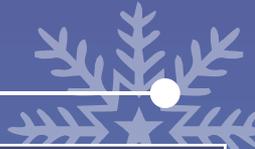


- 発足 平成7年4月
- 任期 2年（非常勤特別職）
- 人数 262名（自治会単位に1名選出）
- 配置 行政区単位に支部（6支部）
- 活動 地区担当保健師と一緒に活動





# 基本的な活動スタイル



1年目	【Plan】	<ul style="list-style-type: none"><li>・各々の地域の健康課題について話合う</li><li>・その健康課題に向けた取組み検討</li></ul>
	【Do】	<ul style="list-style-type: none"><li>・実践活動</li></ul>
	【See】	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分たちの活動についての振り返り (年度末)</li></ul>
2年目	【Action】	<ul style="list-style-type: none"><li>・前年度の反省を踏まえて、活動計画立案と実施</li><li>・支部ごとの広報誌作成</li></ul>





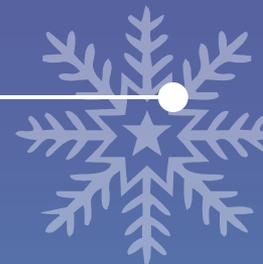
# 保健師の関わり



1年目	【Plan】	<ul style="list-style-type: none"><li>・仲間づくりのアクティビティ</li><li>・健康なまちづくりの理念、市の健康づくり施策などの学習機会を提供</li><li>・地域の統計データなどの提示</li></ul> 
	【Do】	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康教室や啓発活動などを共に実践</li><li>・地区懇談会の開催</li></ul>
	【See】	<ul style="list-style-type: none"><li>・住民アンケート結果をフィードバック</li><li>・評価シートの作成など</li></ul>
2年目	【Action】	<ul style="list-style-type: none"><li>・前年度の反省を踏まえて、活動計画立案と実施</li><li>・次期の引継会の計画</li></ul>



# 美田支部の活動紹介





# 美田支部の活動紹介



この地区は、美しい田園風景が広がる  
ところでは、現在でも用水路に魚を捕りに  
来る親子の姿をみかけたり、ほたるを育て  
ている小学校もあるなど、美しい自然が  
残っている静かなところで、初夏の水田に  
防犯灯が映る風景などはほっと心を和ま  
せてくれます。❄️

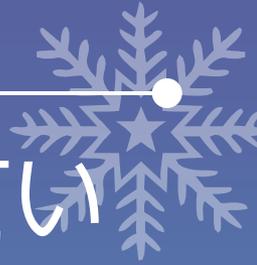




地域はとてもつながりが深く、人々は温厚で協力的、子どもたちも道ですれ違うと元気にあいさつします。

お米や野菜がおいしいこの地域では、朝食を食べない小学生はほとんどいません。3世代家族も多く「朝ごはんを食べていきなさい。」とおじいちゃん、おばあちゃんが声を掛けてくれるおかげです。





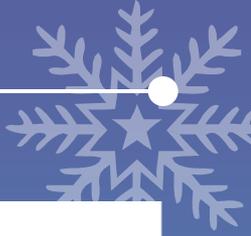
近年、田んぼの淵をウォーキングしている人を随分みかけるようになりましたが、血糖値が高い人が多いという健康課題を持っています。

また、高齢者が多い地域ということもあり、介護の問題は身近で、特に認知症への関心も非常に高くなっています。





# 地区のデータ



<人口> 14,157人  
(高齢化率 31.1%)

## <特徴>

- ・農村部（顔が見える近所付き合い）
- ・人々のつながりが深い
- ・3世代同居が多い（高齢者は多いが独居はそれほどでもない）
- ・子どもの肥満が多い
- ・歯科保健に関する知識不足

## <医療機関>

病院（医科）・・・5/101

病院（歯科）・・・5/75

## <教育施設>

小学校・・・4/27

中学校・・・2/11

\*小中学校とも各学年1～2クラス





# 地域で健康教室を企画



# 生活習慣に関する健康課題



「ごはんは残しちゃいけない」  
「たくさん食べることが美德」という家庭の風習

塩分の濃い食生活



先生、タレもう  
一つちょうだい



近所のお茶のみ付き合いが残っており、常時ストック  
してあるお茶菓子





# 保健師が感じていた課題



地区の健康づくり事業に参加するのは、中高年女性に偏ってしまっている

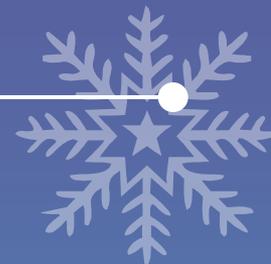


健康推進員は自治会でまわり順となっており「順番だから」としかたなく引き受けている人が多い



地区の小・中学校と連携した健康づくり活動ができていない





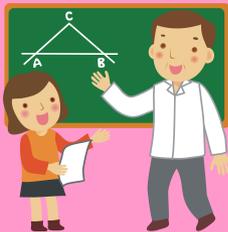
# 轉系結



- \* 地域の健康情報の提示と議論
- \* 地域の健康課題を共有
- \* めざすべき地域の姿を共有



A小学校



保健師



B小学

C小学

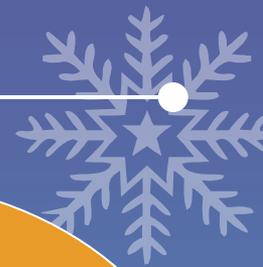
D小学校

- \* 「つなぐ」人材の発掘
- \* 一つの活動がモデルに





# 保健師がぶつかった障壁



学校って  
結構敷居が  
高いなあ



キーパーソン  
は誰？





# 保健師がぶつかった障壁

相手の組織  
の文化がわ  
からない



どんな段取り  
で話を進めた  
らいいの？



# 各学校の学校祭に健康推進員が参加





ほん いえ かくにん  
★「こども110番の家」を確認し、  
何かあったらかけこみましょう！  
けいさつ・ぼうはんきょうかい

Life Well  
Life Well  
Life Well

THE SOUL  
LAVERY  
INTO A TRANCE

# 事前準備でパネル製作



\* 成功体験でエンパワメント



\* 養護教諭の先生方とも信頼関係が  
築け、相談し合える仲になった

# 小学校の総合学習で健康教室





**\* お互いの役割を理解することで、より効果的な取り組みができるようになった**

I はじめに

小山市の目指す小中一貫教育とは

小中学校が連携して、9年間の学びをつなげ、  
子どもの豊かな成長を目指す教育

小中一貫教育推進スケジュール

The diagram illustrates the 'Small Middle School Integrated Education Promotion Schedule'. It shows a timeline from elementary school to middle school, divided into stages. The stages are labeled as follows: '第1ステージ(1-2年)', '第2ステージ(3-4年)', '第3ステージ(5-6年)', '第4ステージ(7-8年)', and '第5ステージ(9年)'. The diagram also includes a section for '小中一貫教育推進スケジュール' and a list of schools involved in the program.

アクションカードを使った 学校での教育対応について

小山市立小中学校

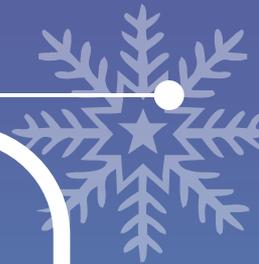
校長 藤川正之先生

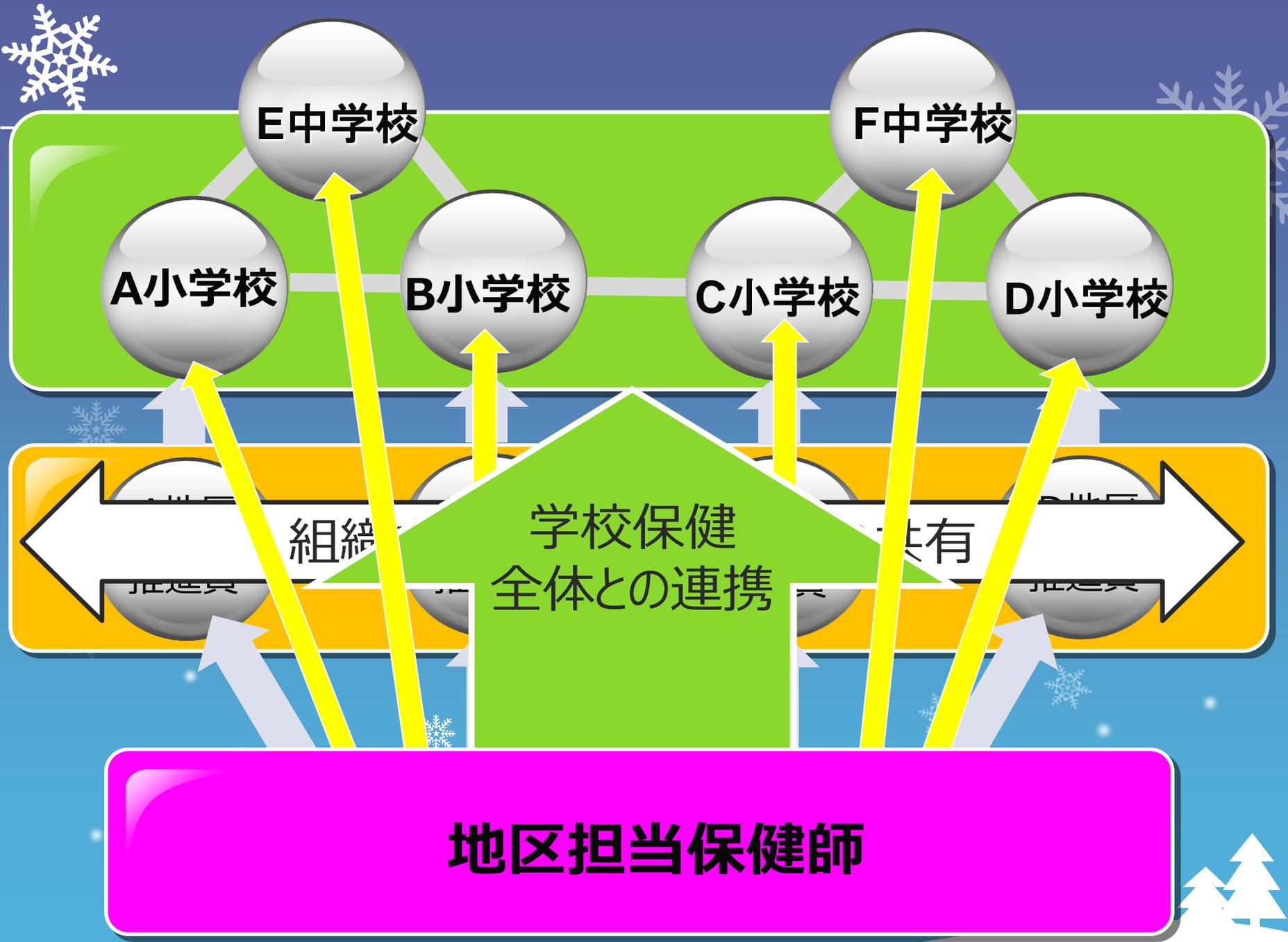
地区養護教諭部会研修会のお誘い



# 学校保健

# 地域保健





E中学校

F中学校

A小学校

B小学校

C小学校

D小学校

組織

学校保健  
全体との連携

共有

地区担当保健師



# 学校保健と地域保健の連携が進んだ理由

- 健康づくりの目的や健康課題が共有できた
- 健康推進員同士の仲間意識が高まった
- 成功体験により健康推進員がエンパワメントされた
- 互いの役割の理解が進み、連携することでのメリットが見出せた
- 信頼関係が構築できた

ご清聴ありがとうございました

